

研究主題「児童が観察や調査・見学の技能を身に付けるための指導の工夫

－児童の教育的ニーズの把握と、それに対応した指導を通して－

東京都教職員研修センター研修部専門教育向上課

府中市立府中第九小学校 教諭 佐藤純一

I 研究のねらい

小学校学習指導要領では、社会科において観察や調査・見学など具体的な活動の重要性を示している。

一方、中央教育審議会答申「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」では、常に児童の教育的ニーズを把握しそれに対応した指導を行うという考え方が、学校全体に浸透することにより、障害の有無にかかわらず、学校における児童の学力向上に資するとしている。

これらのことから、児童が社会科の学習における観察や調査・見学の活動を効果的に行うためには、児童の教育的ニーズを把握し、それに対応した指導を通して、児童に観察や調査・見学の技能を身に付けさせることが必要であると考えた。

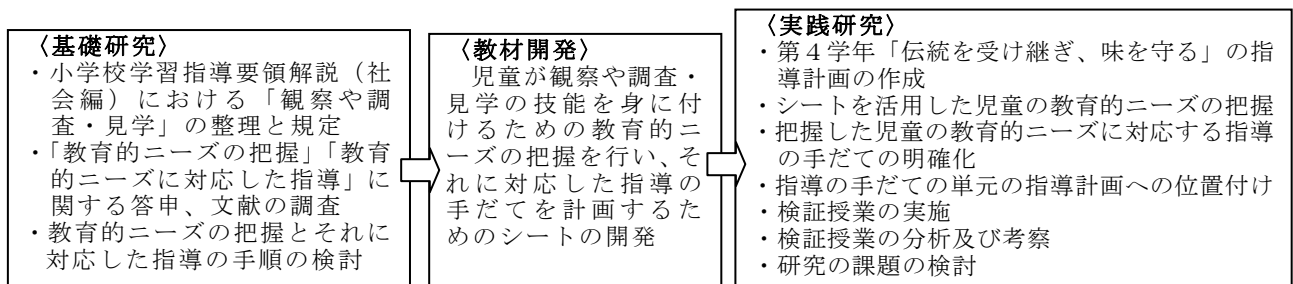
そこで、小学校社会科における、観察や調査・見学の技能に対する児童の教育的ニーズの適切な把握の方法と、把握した教育的ニーズに対応した計画的な指導の在り方を明らかにすることを研究のねらいとした。

II 研究の内容と方法

1 研究の仮説

観察や調査・見学の技能に対する児童の教育的ニーズの把握を適切に行い、教育的ニーズに対応した指導を計画的に行うことで、児童は観察や調査・見学の技能を身に付けることができる。

2 研究の内容と方法



III 研究の結果と考察

1 基礎研究

(1) 観察や調査・見学の規定

小学校学習指導要領解説（社会編）、先行研究、各社教科書の記述内容を基に、本研究における「観察」「調査・見学」を構成する活動をそれぞれ、以下のようにとらえた。

「観察」は、めあて・内容・方法を理解し、①社会的事象を見て確かめる活動、②事物に触れてみたり、使ってみたりして確かめる活動、③その結果を記録する活動によって構成される。

「調査・見学」は、めあて・内容・方法を理解し、①社会的事象について関係者に話を聞く活動、②社会的事象に関する資料を収集する活動、③社会的事象を数量調査、スケッチ、撮影する活動、④その結果を記録する活動によって構成される。

(2) 教育的ニーズの把握とそれに対応した指導の手順

「教育的ニーズの把握」「教育的ニーズに対応した指導」に関する各種審議会答申、文献の調査を基に、教育的ニーズの把握を適切に行い、それに対応した指導を行うための手順を次のように設定した。

① 教育的ニーズの把握の手順

〔手順1〕 単元の指導計画を基に、単元の指導を通して身に付けさせたい技能を確認する。(例 社会的事象についての疑問をもつ。)

〔手順2〕 単元で身に付けさせたい技能の中から、児童のつまずきや困難がある技能や長所として生かす技能を把握する。(例 社会的事象について疑問をもつことが難しい。)

〔手順3〕 手順2で把握した、つまずきや困難の原因を理解する。(例 社会的事象への関心をもちにくい。)

〔手順4〕 つまずきや困難の原因や長所を分析し、つまずきや困難を改善するための教育的ニーズや、長所として生かすための教育的ニーズを把握する。(例 社会的事象への関心をもちにくく、社会的事象について疑問をもつことが難しいので、資料の提示を工夫する必要がある。)

② 教育的ニーズに対応した指導の手順

〔手順5〕 把握した教育的ニーズを基に具体的な指導の手だてを立案し、指導計画に位置付ける。(例 ビデオ教材、写真、文章資料など複数の方法で資料を提示するとともに、内容を精選し分かりやすくする。)

〔手順6〕 指導計画に基づいて指導を行い、指導の結果を評価する。(例 ビデオ教材や写真を見ることは、社会的事象についての疑問をもつために有効であった。)

2 教材開発ー「社会科学習児童観察シート（観察や調査・見学の技能）」ー

児童の教育的ニーズの把握とそれに対応した指導の手順に従い、つまずきや困難とその原因、及び長所として生かす技能を教師が理解し、指導の手だてを明らかにできるように工夫した。

(補助資料1)

3 実践研究

(1) 指導計画の作成

第4学年「伝統を受け継ぎ、味を守る」の学習において、観察や調査・見学の活動として、観察や調査・見学のめあてをつかみ計画を立てる活動、実物を観察する活動、聞き取り調査をする活動、観察や調査・見学した結果を記録する活動を位置付けた指導計画を作成した。

(2) 「社会科学習児童観察シート（観察や調査・見学の技能）」を活用した教育的ニーズの把握

検証授業に先立ち、A児を観察対象児童としてA児の教育的ニーズを把握した。観察は社会科学の学習を中心に各教科等の学習や生活の様子について、複数の教師で行った。

A児の教育的ニーズは以下の4点であった。

教育的ニーズ① 社会的事象への関心をもちにくく、事実を発見したり疑問をもったりすることが難しいので、資料の提示を工夫する必要がある。

教育的ニーズ② 聞いた内容の理解ができにくく、活動の内容や方法を理解することが難しいので、視覚的に補助をしたり、個別に指導したりする必要がある。

教育的ニーズ③ 注意や興味が持続しにくく、調査の意図が伝わる質問原稿を書くことが難しいので、活動の完成の形を示す必要がある。

教育的ニーズ④ 学習への意欲をもたせるために、長所を褒める必要がある。

(3) 把握した教育的ニーズに対応する指導の手だての明確化

把握したA児の教育的ニーズを基に明らかにした具体的な指導の手だてを、「社会科学習児童観察シート（観察や調査・見学の技能）」に設定した。

(4) 指導の手だての単元の指導計画への位置付け

A児への指導の手だてを単元の指導計画へ位置付けた。このことにより、「社会科学習児童観察シート（観察や調査・見学の技能）」に設定した指導の手だてを確実に実施できるようにした。

（補助資料2）

(5) 検証授業の結果

① 資料の提示を工夫したことで、社会的事象の事実を発見し、疑問をもつことができた。

浅草の商店街の消費者を集めるための取り組みを発見する活動において、A児の教育的ニーズ①から、「写真を見ることに集中できるように、個人用の写真を配布する。」という指導の手だてをとった。その結果、A児は写真を集中して見ることができ、「飾りの数が多い。」「屋根がある。」という消費者を集めるための取り組みを発見した。また、浅草の観光施設や伝統行事を示した写真や地図から、浅草の商店街に多くの消費者が来る理由を発見する活動において、「写真や地図を見るポイントが分かるように、矢印で示す。」という指導の手だてをとった。その結果、A児は「三社祭のおみこしを見に来た人たちが買い物をするから。」「遊園地に遊びに来た人たちが買い物をするから。」という消費者が集まる理由を発見した。A児はこれらの指導の手だてにより、社会的事象の事実を発見することができた。

（補助資料3）

さらに、人形焼についての疑問をもつ活動において、資料を見ることに興味をもたせるために、「ビデオ教材、写真、文章資料など複数の方法で資料を提示するとともに、内容を精選し分かりやすくする。」という指導の手だてをとった。その結果、A児は人形焼を焼く様子や材料を拡大したビデオ教材や写真から、人形焼の材料と形に関心をもち「クリーム（生地）は何か。」「人形焼の形は何か。」「なぜこの形なのか。」という疑問をもった。A児はこの指導の手だてにより、社会的事象についての疑問をもつことができた。（補助資料4）

② 視覚的な補助と個別の指導により、内容を理解した観察と、めあてに沿った質問ができた。

浅草で人形焼について観察や調査・見学する活動において、A児の教育的ニーズ②から、活動の内容を理解させるために、「事前に書いた観察カードで内容を確認しながら観察するように個別に指導する。」という指導の手だてをとった。その結果、A児は観察カードに書いた「見てくることは「人形焼の形」「クリーム（生地）の材料」を見て、内容を確認しながら観察した。A児はこの指導の手だてにより内容を理解した観察をすることができた。

また、調査したい内容の質問ができるように、「事前に書いた聞き取り台本を見ながら質問するように個別に指導する。」という指導の手だてをとった結果、A児は台本の「人形焼はなぜその形なのですか。」「何度で焼いているのですか。」という記述を見て、自分から「人

形焼の形の由来」「人形焼を焼く温度」について質問をした。A児はこの指導の手だてにより、めあてに沿った質問をすることができた。(補助資料5、6)

③ 活動の完成の形を示したことで、調査の意図が伝わる質問原稿を書くことができた。

人形焼についてさらに詳しく知りたいことを、ファクシミリで調査するための質問原稿を書く活動において、A児の教育的ニーズ③から、活動への興味を持続させるため、「質問原稿の完成の形が理解できるように、質問原稿の完成の見本を拡大し示す。」という指導の手だてをとった。その結果、A児は活動への興味を示し、「人形焼をなぜ作り始めたのですか。」「人気を守るためにどのような努力をしていますか。」と、調査の意図が伝わる質問原稿を書くことができた。

しかし、学習の過程では、A児は新たな疑問をもつことに関心がもてず、注意や興味の持続が難しいこともあった。観察を発展させた調査の内容をA児が自らつかむためには、視覚的な資料の提示を行い、新たな疑問をもてるような指導の工夫も必要であることが分かった。

(補助資料7)

④ 長所を褒めたことで、学習内容を記録する意欲を持続することができた。

人形焼について観察する活動において、A児の教育的ニーズ④から、学習内容を記録する意欲を持続させるため、「観察したことを熱心にメモしていることを長所として褒める。」という指導の手だてをとった。その結果、A児は予定の観察内容以外の人形焼の作り方や働く人の様子も意欲的に観察しメモした。さらに、まとめを記録する活動においてもこの意欲が継続し、人形焼の人気の秘密は「昔からの味を守り続けているから。」「守り続けている形に自信があるから。」という記録をした。A児はこの指導の手だてにより、学習内容を記録する意欲を持続することができた。(補助資料6)

4 指導の考察

- (1) 「社会科学習児童観察シート(観察や調査・見学の技能)」を活用し、A児の観察や調査・見学の技能に対するつまづきや困難とその原因、及び長所を理解することで、A児の教育的ニーズの把握を行うことができた。
- (2) 把握したA児の教育的ニーズに対応した指導の手だてを明確にし、単元の指導計画に位置付けた指導を行った結果、A児の単元で必要な観察や調査・見学の技能の高まりが見られた。児童一人一人の教育的ニーズに対応した指導の手だてを繰り返すことにより、観察や調査・見学の技能を身に付けさせることができると考える。
- (3) 注意や興味の持続が難しくなり、学習意欲が低下した時には、新たな疑問をもてるような資料提示を行うなど、指導の工夫が必要であった。

IV 今後の課題

- 1 児童の社会科学の学習での教育的ニーズをより正確に把握するために、「社会科学習児童観察シート(観察や調査・見学の技能)」の活用を今後も継続する。
- 2 他の児童にも「社会科学習児童観察シート(観察や調査・見学の技能)」を活用した、教育的ニーズの把握とそれに対応した指導を行い、本研究の仮説を検証する。
- 3 「社会的事象についての知識・理解」「社会的事象への関心・意欲・態度」「社会的な思考・判断」についても「社会科学習児童観察シート」を作成する。

補助資料1 社会科学習児童観察シート（観察や調査・見学の技能）第4学年「伝統を受け継ぎ、味を守る」

観察対象児童		児童のつまずきや困難の原因		児童の教育的ニーズ		評価						
記録者	A	社会的事実への関心	社会的事実の特色や関連の理解	順序立てた課題解決	言葉による指示の理解	場所や相手に応じた発言、受け答え	文章の読み取り	文章・絵による表現	計算	表やグラフの読み取り	注意や興味の特長	グループ活動への参加
観察実施日												
評価実施日												
通学 学習	観察や調査・見学の技能 (具体的観察内容)											
つか 心	1 社会的事実の事実を発見する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 社会的事実についての疑問をもつ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 疑問に対する予想を立てる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 観察や調査・見学のめあてをつかむ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 観察や調査・見学の内容をつかむ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 観察や調査・見学の方法をつかむ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
観 察 す る	1 めあてを理解して観察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 内容を理解して観察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 方法を理解して観察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 観察したことをメモする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調 査 す る	1 めあてを理解して聞く。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 何を聞くか理解して聞く。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 めあてに沿った質問をする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 聞いたことや質問の答えをメモする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調 査 す る	1 調査のめあてを理解して手紙文や質問原稿を書く。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 調査する内容や相手に理解して手紙文や質問原稿を書く。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 調査の意図が伝わる手紙文や質問原稿を書く。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 電話で調査の内容を伝える。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 電話をしなからメモをする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 操作方法を理解する。(電話、ファクシミリ、電子メール)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調 査 す る	1 調査のめあてを理解して本や資料を収集する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 本や資料の収集の仕方を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 本や資料から学習に必要なことを読み取る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調 査 す る	1 調査のめあてを理解して数量を調査する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 調査の内容や対象を理解して数量を調査する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 調査の方法を理解して数量を調査する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調 査 す る	1 調査のめあてを理解してスケッチをする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 調査の内容や対象を理解してスケッチをする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調 査 す る	1 めあてを理解して撮影する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 何を見学するか理解して見学する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 撮影の方法を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調 査 す る	1 めあてを理解して見学する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 何を見学するか理解して見学する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 博物館や郷土資料館で見学したいコーナーが分かる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 展示の説明文を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ま と め る	1 めあてに対するまとめを記録する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分かったことを内容ごとに記録する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 事実と解釈を区別して記録する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 記録する方法が分かる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

手順4
つまずきや困難の原因や長所を分析し、つまずきや困難を改善するための教育的ニーズや、長所として生かすための教育的ニーズを把握する。

児童が観察や調査・見学の技能を身に付けるためのつまずきや困難の原因を設定し、観察の際につまずきや困難の原因を選択し、理解できるようにした。ただし、設定したつまずきや原因のさらに詳しい背景を理解する必要がある。

手順3
手順2で把握した、つまずきや困難の原因を理解する。

手順2
単元で身に付けさせたい技能の中から、児童のつまずきや困難がある技能(○)や長所として生かす技能(☆)を把握する。

児童の自己肯定感を伸ばす上で長所として生かす技能を理解し、指導することが必要と考え、観察項目として設定した。

手順1
単元の指導計画を基に、単元の指導を通して身に付けさせたい技能を確認する。

手順5
把握した教育的ニーズを基に具体的な指導の手だてを立案し、指導計画に位置付ける。

手順6
指導計画に基づいて指導を行い、指導の結果を評価する。

○「小学校学習指導要領解説(社会編)」、各社教科書を基に、観察や調査・見学の内容、対象、活動の種類、場所を分類、整理した。
 ○学習過程に沿って観察や調査・見学の技能を分類、整理した。
 ○観察や調査・見学の活動においては、活動のねらい、内容、方法を理解することが重要であるので、共通の観察項目として設定した。

アルファベットと数字は、身に付けさせたい観察や調査・見学の技能に対応し、丸数字は児童の教育的ニーズに対応する。

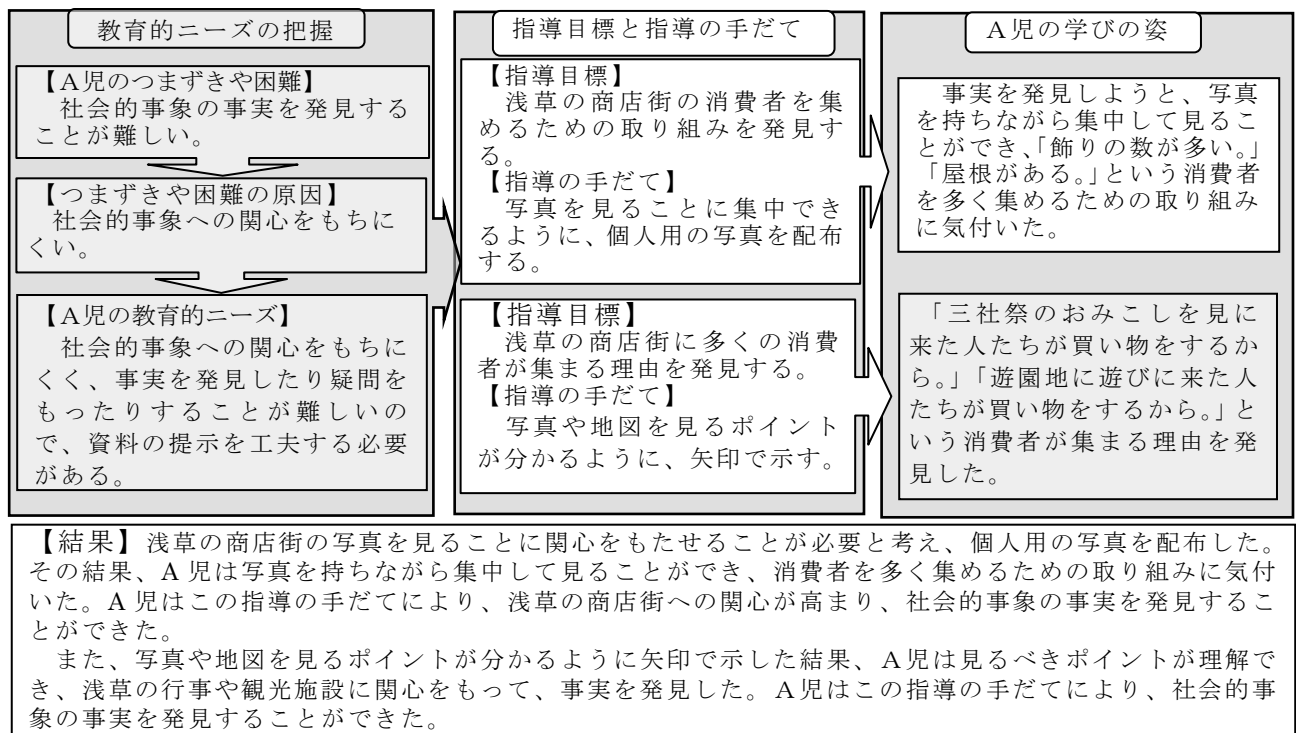
補助資料2 指導の手だてを位置付けた単元の指導計画

時	○ねらい 【評価】	◇学習活動 ・主な学習内容	●学級全体への指導	身に付けさせたい観察や調査・見学の技能と児童の教育的ニーズに対応した指導の手だて
<p>身に付けさせたい観察や調査・見学の技能を記入する。アルファベットと数字は、社会科学習児童観察シートの番号、丸数字は児童の教育的ニーズに対応する。</p>				
3時	○人形焼、雷おこしを作る様子等を観察したり、材料や作り方の工夫、歴史を聞き取ったりする。 【技能・表現①】	◇人形焼、雷おこしを作る様子等を観察する。 ・手作りの方法 ・材料 ◇人形焼、雷おこしの作り方や材料の工夫、歴史等について商店の人に質問する。	●前時に書いた調べる内容を確認しながら観察するように指導する。 ●前時に記入した質問事項を見ながら質問するように指導する。	《内容を理解して観察する》B-2② 事前に行った観察カードで内容を確認しながら観察するように個別に指導する。 《めあてに沿った質問をする。》C-3② 事前に行った聞き取り台本を見ながら質問するように個別に指導する。
<p>児童の教育的ニーズに対応した指導の手だてを記入する。</p>				

補助資料3 資料の提示方法を工夫したことで、社会的事象の事実を発見することができた。

ねらい： 浅草の商店街には古くからの歴史があり、多くの消費者が集まることを理解する。

【身に付けさせたい観察や調査・見学の技能】
 A-1「社会的事象の事実を発見する。」
 【指導の手だて】
 「写真を見ることに集中できるように、個人用の写真を配布する。」
 「写真や地図を見るポイントが分かるように、矢印で示す。」



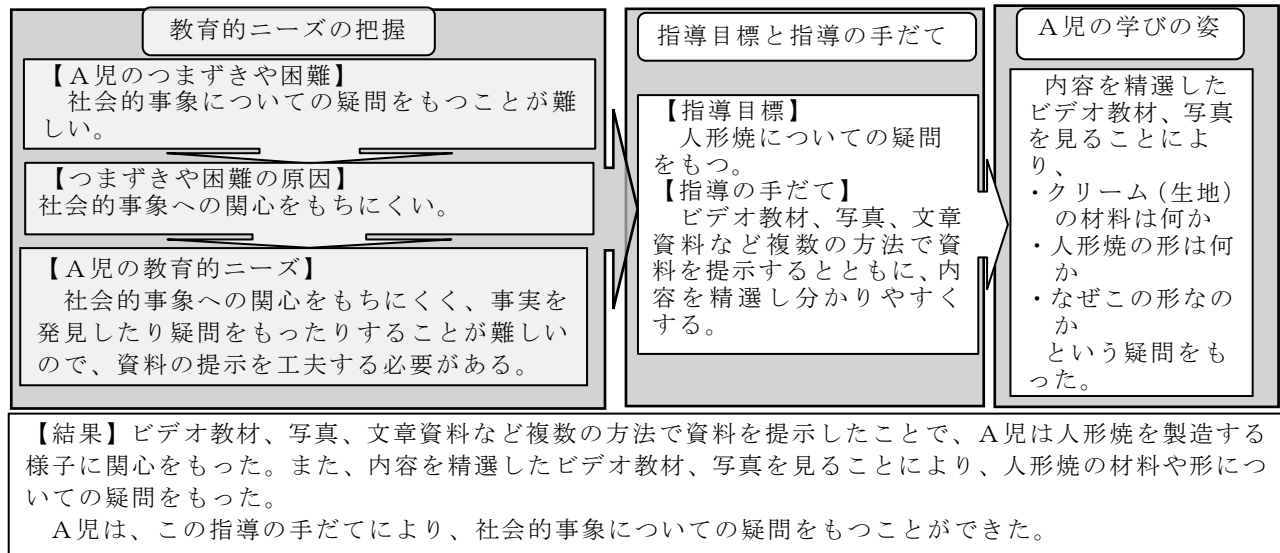
補助資料4 資料の提示方法を工夫したことで、社会的事象についての疑問をもつことができた。

ねらい：人形焼や雷おこしについて調べる内容や方法をつかむ。

【身に付けさせたい観察や調査・見学の技能】
 A-2 「社会的事象についての疑問をもつ。」

【指導の手だて】

「ビデオ教材、写真、文章資料など複数の方法で資料を提示するとともに、内容を精選し分かりやすくする。」



補助資料5 視覚的な補助と個別の指導により、観察や調査・見学の内容や方法をつかむことができた。

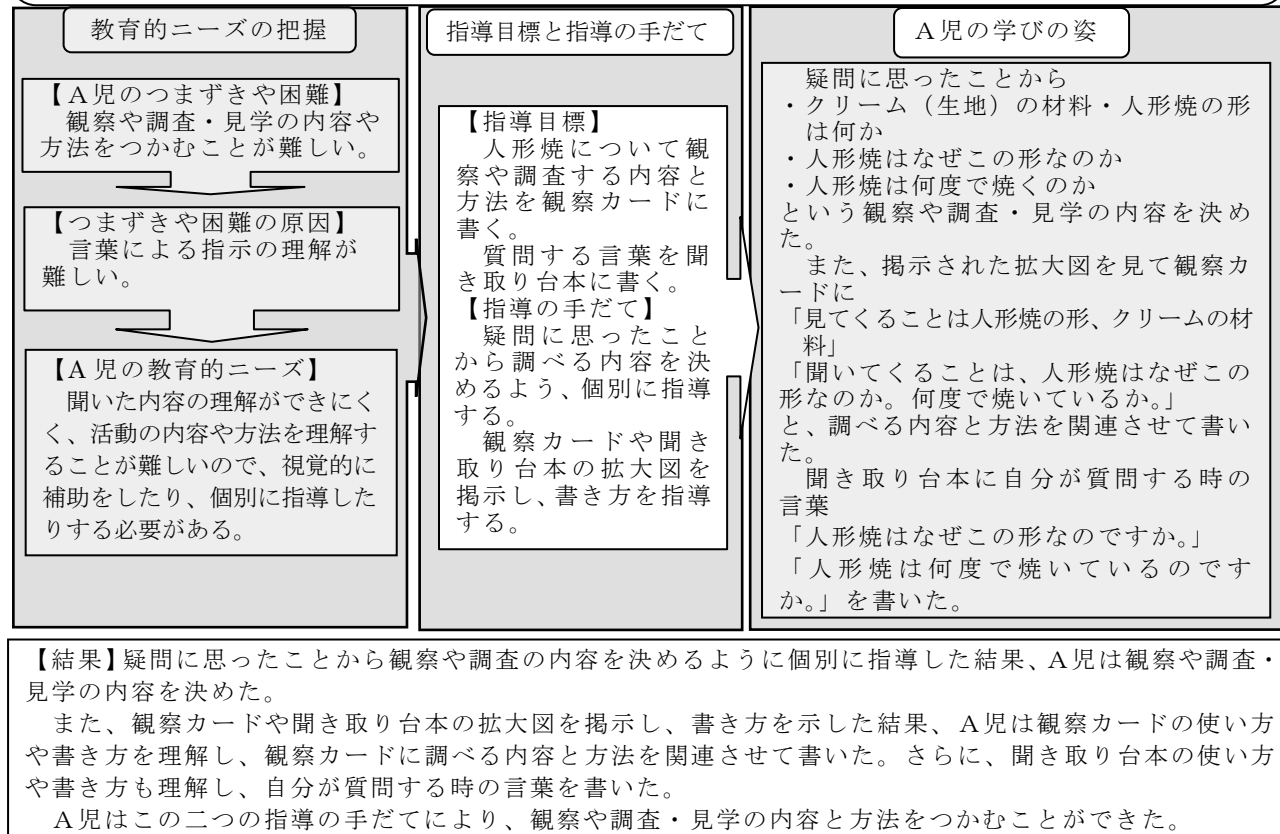
ねらい：人形焼や雷おこしについて調べる内容や方法をつかむ。

【身に付けさせたい観察や調査・見学の技能】

A-5 「観察や調査・見学の内容をつかむ。」 A-6 「観察や調査・見学の方法をつかむ。」

【指導の手だて】

「疑問に思ったことから調べる内容を決めるよう、個別に指導する。」
 「観察カードや聞き取り台本の拡大図を掲示し、書き方を指導する。」



**補助資料6 視覚的に補助したことで、内容を理解した観察と、めあてに沿った質問ができた。
 長所を褒めたことで、学習内容を記録する意欲を持続することができた。**

ねらい：人形焼や雷おこしを作る様子等を観察したり、材料や作り方への工夫、歴史を聞き取ったりする。

- 【身に付けさせたい観察や調査・見学の技能】
 B-2「内容を理解して観察する。」 C-3「めあてに沿った質問をする。」
- 【指導の手だて】
 「事前に書いた観察カードで内容を確認しながら観察するように個別に指導する。」
 「事前に書いた聞き取り台本を見ながら質問するように個別に指導する。」
- 【長所として生かす技能】 B-4「観察したことをメモする。」
- 【指導の手だて】 観察したことを熱心にメモしていることを長所として褒める。

教育的ニーズの把握	指導目標と指導の手だて	A児の学びの姿
<p>【A児のつまずきや困難】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容を理解して観察することが難しい。 めあてに沿った質問をすることが難しい。 	<p>【指導の目標】</p> <p>人形焼の形と材料を観察する。</p> <p>【指導の手だて】</p> <p>事前に書いた観察カードで内容を確認しながら観察するように個別に指導する。</p>	<p>観察カードを見て、「人形焼の形」「人形焼きの材料」を観察し、「人形焼きの形は、鳩、ちょうちん、五重塔、雷様。」「本当はクリームではなく、小麦粉と卵と水を合わせた物。」というメモをした。</p>
<p>【つまずきや困難の原因】</p> <p>言葉による指示の理解が難しい。</p>	<p>【指導の目標】</p> <p>人形焼の形の由来と焼く温度について質問する。</p> <p>【指導の手だて】</p> <p>事前に書いた聞き取り台本を見ながら質問するように個別に指導する。</p>	<p>聞き取り台本を自分で確認しながら、「人形焼きはなぜその形なのですか。」「何度で焼いているのですか。」と自分から質問し、観察カードに「浅草にちなんだ形をしている。」「何度で焼くかははっきりと決まっていない。」というメモをした。</p>
<p>【A児の教育的ニーズ】</p> <p>聞いた内容の理解ができにくく、活動の内容や方法を理解することが難しいので、視覚的に補助をしたり、個別に指導したりする必要がある。</p>	<p>【長所として生かす技能】</p> <p>観察したことをメモする。</p> <p>【指導の手だて】</p> <p>観察したことを熱心にメモしていることを長所として褒める。</p>	<p>観察時に熱心にメモしていることを褒めたところ、予定の観察内容以外の「形に小麦粉を水で溶かした物をおたまでかける。そこにあんこを乗せてひっくり返して焼く。そして何分かしたらできあがり。」「人形焼を焼く人が、座布団に座って焼いていた。」というメモをした。</p>
<p>【A児の教育的ニーズ】</p> <p>学習への意欲をもたせるために、長所を褒める必要がある。</p>		
<p>【結果】事前に書いた観察カードで内容を確認しながら観察するように個別に指導した結果、A児は観察カードに書いた内容に沿って、人形焼の形や材料を観察した。A児は、この指導の手だてにより、内容を理解して観察することができた。</p> <p>事前に書いた聞き取り台本を見ながら質問するように個別に指導した結果、A児は聞き取り台本を自分で確認しながら質問できた。質問事項を理解することが、自主的な活動につながった。A児は、この指導の手だてにより、めあてに沿った質問をすることができた。</p> <p>観察したことを熱心にメモするという長所を褒めたことにより、A児は予定の観察内容以外の人形焼の作り方や働く人の様子も意欲的に観察し、詳しくメモをした。</p>		

補助資料7 活動の完成の形を示したことで、調査の意図が伝わる質問原稿を書くことができた。

ねらい：人形焼や雷おこしについて、各自の計画に従って資料を活用したり、電子メール、ファクシミリを活用したりして調べる。

- 【身に付けさせたい観察や調査・見学の技能】 D-3「調査の意図が伝わる質問原稿を書く。」
- 【指導の手だて】 「質問原稿の完成の形が理解できるように、質問原稿の完成の見本を拡大し示す。」

教育的ニーズの把握	指導目標と指導の手だて	A児の学びの姿
<p>【A児のつまずきや困難】</p> <p>調査の意図が伝わる質問原稿を書くことが難しい。</p>	<p>【指導の目標】</p> <p>ファクシミリでの質問原稿を書く。</p> <p>【指導の手だて】</p> <p>質問原稿の完成の形が理解できるように、質問原稿の完成の見本を拡大し示す。</p>	<p>質問原稿の完成の見本を見ることで、「人形焼きはなぜ作られ始めたのですか。」「人気を守るためにどのような努力をしていますか。」という、ファクシミリでの質問を書き、完成させることができた。</p> <p>しかし、新たな疑問をもつことに関心をもてず、興味の持続が難しいこともあった。</p>
<p>【つまずきや困難の原因】</p> <p>注意や興味の持続が難しい。</p>		
<p>【A児の教育的ニーズ】</p> <p>注意や興味が持続しにくく、調査の意図が伝わる質問原稿を書くことが難しいので、活動の完成の形を示す必要がある。</p>		
<p>【結果】A児は質問原稿の完成の見本を見ることで、ファクシミリでの質問原稿を書くことに興味が持続し、完成させた。A児はこの指導の手だてによって、調査の意図が伝わる質問原稿を書くことができた。</p> <p>しかし、A児は新たな疑問をもつことに関心をもてず、注意や興味の持続が難しいこともあった。観察を発展させた調査の内容をA児が自らつかむためには、視覚的な資料の提示を行い、A児が新たな疑問をもてるような指導の工夫が必要である。</p>		